

笠間市における節電対策について

節電方法

① 家庭の取り組み

「こまめに消す」「設定温度を上げる」「使用時以外はコンセントを抜く」など節電を行う。

- 冷房の設定温度を28℃に設定する。
- すだれおよび緑のカーテンによる日差しのカット

①空調

- ・空調機器の使用は、午後のピーク時間帯を避ける。

②電気機器

- ・パソコンやテレビの使用をできるだけ控える。特に午後のピーク時間帯の使用を控える。
- ・炊飯器、洗濯機、衣類乾燥機は、午後のピーク時間帯を避けて、タイマー機能を活用する。
- ・冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整をし、効率的に使用する。
- ・人のいない部屋の照明や建物外側の照明設備は消灯する。

③その他

- ・自宅前の道路等に打ち水を行う
- ・早寝早起きによる夜間電力の削減



② 事業者の取り組み

ピーク時間、時間帯における最大使用電力の抑制に努め、節電を行う。

- 冷房の設定温度を28℃を目安に、より高く設定する。
- クールビズ期間の拡大による、空調機器の節電

①空調

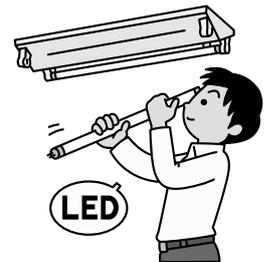
- ・空調機器の使用は、午後のピーク時間帯を避ける。

②照明

- ・広告・ネオン等の点灯をできるだけ控える。
- ・昼間：廊下、ロビー、エレベーターホールの照明の全消灯あるいは間引き照明。執務室内窓側・廊下側照明の全消灯あるいは間引き照明。
- ・夜間：安全確保のための最小限の照明に制限。
- ・昼休み、終業時の消灯の徹底。

③その他

- ・クールビズの導入
- ・太陽光発電設備、LED蛍光灯等の省エネ設備の導入



【問合せ】環境保全課（内線125）

笠間市役所の取組み

公共施設ごとの電気使用量の節電目標を、平成22年度と比べて10%削減することを目標とし、節電します。

照明の対策

- ・事務室内の照明の数を2/3に削減しているが、昼間の明るい時間は、より一層の消灯を実施する。カウンターなど市民の訪れる場所は、安全確保を講じた上で節電対策を実施する。
- ・共用部分（特に階段や通路など）は安全確保を講じた上で節電対策を実施する。

空調の対策（夏季）

- ・室内温度が30℃を越す場合に、室温を29℃等に設定する。
- ・最大消費時間である午後1時～3時は、室内温度の状況に応じた対応をする。
- ・窓口延長日以外、午後5時以降は使用しない。

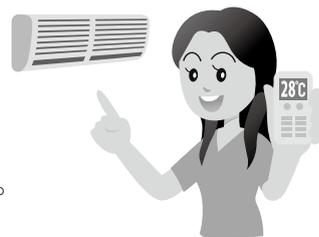
施設使用時の対策

- ・エレベーターや自動ドアは、必要最小限の運転とする。
- ・会議室の利用においては人数にあった部屋を使用するとともに、室内の不要な部分については消灯する。
- ・コピー機については、緊急時に必要なもの以外は退庁時に主電源を切る。
- ・週2回のノー残業デーを実施し、消費電力を削減する。
- ・デマンドコントローラーを設置し、最大電力の抑制に努める。
- ・グリーンカーテンやブラインドを有効に活用する。
- ・クールビズの導入期間を5～10月に拡大し、市議会においてもクールビズを導入する。



【問合せ】総務課（内線208）

節電にご協力ください



家庭やオフィスで、節電の努力をすることで安定した電力供給につながります。
日中のピーク電力削減を目指して、節電へのご協力をよろしく申し上げます。

家庭でできる節電メニュー

ご家庭で取り組む対策をチェックし、「我が家の節電対策」を作りましょう。

取り組んでいただきたい節電メニュー		節電効果		チェック
		削減率	削減消費電力	
エアコン	室温28℃を心がけましょう。	10%	130W	<input type="checkbox"/>
	緑のカーテンやすだれなどで窓からの日差しを和らげましょう（エアコンの節電になります）。	10%	120W	<input type="checkbox"/>
	無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。 <small>※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になるので注意しましょう。</small>	50%	600W	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。	2%	25W	<input type="checkbox"/>
照明	日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。	5%	60W	<input type="checkbox"/>
テレビ	省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう。 <small>※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合</small>	2%	25W	<input type="checkbox"/>
温水洗浄便座	便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用しましょう。	1%未満	5W	<input type="checkbox"/>
	上記の機能がない場合は、コンセントからプラグを抜いておきましょう。	いずれかの対策により		
炊飯器	早朝にタイマー機能で一日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。	2%	25W	<input type="checkbox"/>
待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう。	2%	25W	<input type="checkbox"/>
節電合計		%	W	

熱中症などには十分に気をつけて、無理のない範囲で取り組みましょう。

※節電効果の記載値は、在宅世帯の日中の平均的消費電力（14時：約1200W）に対する削減率と削減消費電力の目安です。（資源エネルギー庁推計）